

第四セット 怪人トシ！



ママさんバレー戦隊
ブルンジャー-3

採石場。

ブルンジャーのブルー、ピンク、バイオレットの三人は、怪人トシと戦っていた。太鼓腹をしたトシはスピードが遅く攻撃も三人に当たらないので、ブルンジャーの優位で早々に勝負がつくかと思われたが

バイオレット「この怪人、いくら撃つても倒れないよつ」
ブルー「ダメージは与えているはずなのですが……」
ピンク「何か執念みたいなもので、こちらに向かってきてるような……。それにあのトシって怪人、さつきからずっとバイオレットを見てない……？」
バイオレット「えーッ!? 怖いいいつ」
ブルー「仕方ない。ブルンジャーアタックいきますわよ」
ピンク＆バイオレット「了解つ！」



が、

バイオレット「あれ？ いない？」

ブルー「あの怪人、消えたね……」

ブルンジヤーアタックの弱点ですわ……」

ブルンジヤーアタックとは、三人のブルンジヤーが、レシーブ、トス、スペイクで決める強力な必殺技である。だが、実際の攻撃であるスペイクまでタイムラグがあるため、相手が弱った、又は怯んだときに発動しないと、今回のように逃げられたり、逆に反撃されたりする。

ブルー「まだ近くにいる筈です。三人で手分けして怪人トシを探しますわよ。見つけたらすぐ知らせるようにな！」

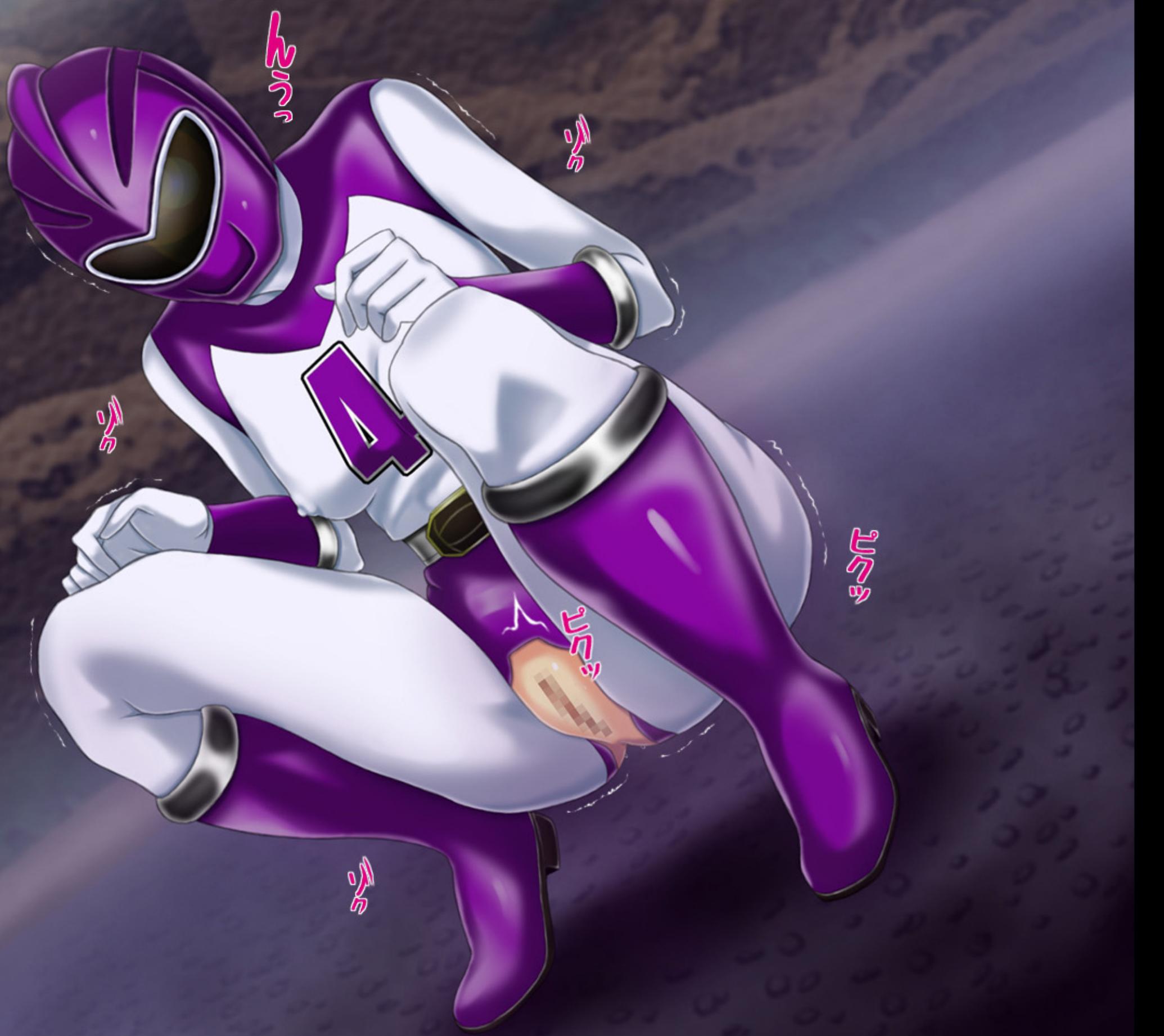
ピンク&バイオレット「了解っ！」



バイオレット「よし、誰もいないよね……この辺でいいかな……ふうう……」
(戦闘中からずつと我慢してたもん。いいよね……)

怪人トシを探していたバイオレットだったが、下腹部に強烈な尿意を感じたため、その場でしゃがみ込んだ。そして、『排泄モード』で股間まわりの強化スースを解除すると、息みだした。

バイオレット「ううううんっ……はああ……つ」「いざしようとするとなかなか出ないつ。もううつ



……プシャアアアアアツ

ようやく小水が尿道から溢れた——バイオレットの股間から噴き出した黄色の水は、弧を描きながら、地面に落下していく。

バイオレット「はああ……気持ちいい……」
（誰もいないとはいえ、野外でオシッコするって……何か悪いことしているみたいで、ドキドキしちゃう……）

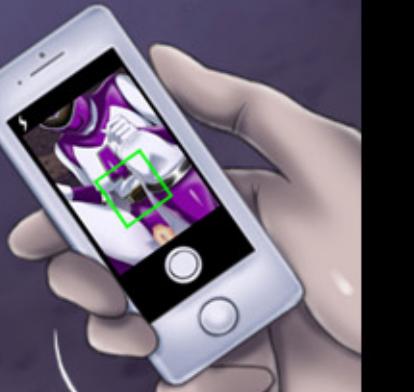


カシャツ

バイオレット「ツ!?」
（いま、音したよね……シャツター音が……）

バイオレット「誰ツ!?

カシヤツ



シャアアアアアア



トシ「こんにちは、バイオレットちゃん♥」

突然！ 太い指が摘み上げた「ひいツ！ 痛ツ！」

用を足すことに集中していた戦隊少女の乳首をグリグリと弄る。

トシ「ボクさあ、戦場でみんな堂々とオシッコしちゃつてる女の子って初めて見たよ」

バイオレット「うぐうつ……は、離してえ……」

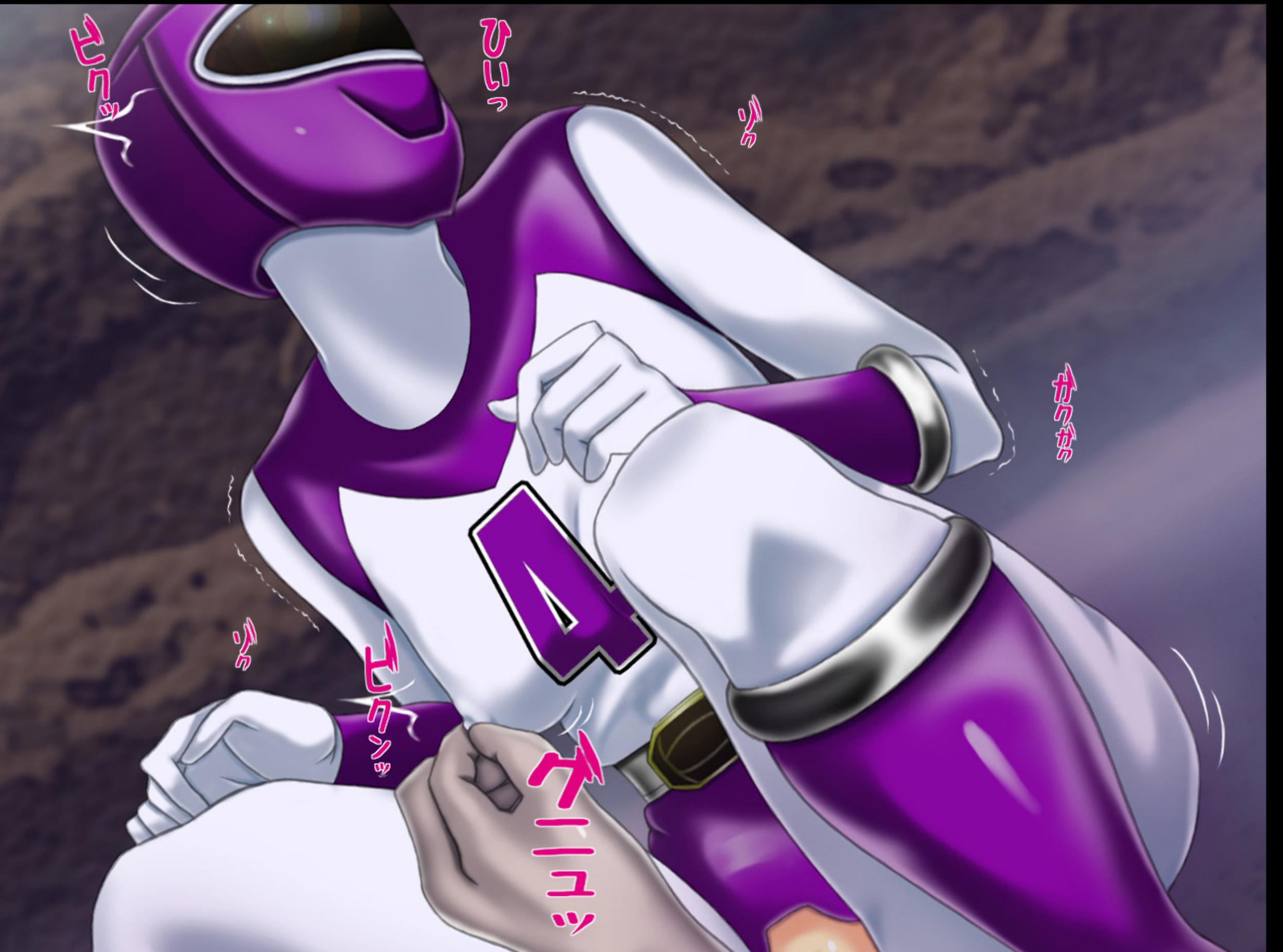
トシ「だーめえ。君の乳首すごく摘み心地イイんだもん」

バイオレット「あたしは気持ち悪いツ！ 鳥肌立つてしまつ。写真も撮ったでしょ？ どういうつもりつ！」

トシ「うん。はじめは、ボクをおびき寄せる『釣り』だ

と思つたんだけさあ、本気でオシッコ我慢してたみた

いだつたし、ボクの趣味の写真撮影して上げたんだよお



トシ「良い被写体で良いシーンだつたんて、お陰で良い写真が撮れたよお。あとでL○NEに送つておくから、バイオレットちゃんのID教えてね♥」
バイオレット「キモツ！ 消してツ！」
トシ「誰が消すもんかあ。そ、うそ、あの写真さあ、今すぐにでもSNSにアップして、市民のみんなに披露することもできるんだよね。きっと『いいね』がいっぱいもらえるよお」
バイオレット「ツ!! そ、それだけはダメ……」
トシ「だつたらさあ……分かるよね？ 言うとおりにしてね、バイオレットちゃんん♥」



体験版は以上です。
体験版をお求めいただき、ありがとうございました。
続きは製品版でお楽しみください。

